

# 一般財団法人 英語教育協議会

## 平成30年度（2018年度）事業報告

### 1. 英語教員研修事業

#### (1) ELEC英語教育研修会(The ELEC Seminars for English Teachers)

文部科学省後援のもとに、各1日制の研修会をELEC英語研修所にて下記のとおり実施した。

夏期：7月28日～8月17日（18日間） 受講者数：533名（前年617名）

冬期：12月24日～26日（3日間） 受講者数：85名（前年143名）

春期：3月25日～30日（6日間） 受講者数：185名（前年165名）

合計：803名（前年925名）

なお、昭和32年以来の受講者累計は23,683名となった。

#### (2) 小学校英語workshop

名称を「小学校外国語活動ワークショップ」から「小学校英語workshop」へ変更。文部科学省後援のもとに、各1日制の研修会をELEC英語研修所にて下記のとおり実施した。昨年同様年3回の実施とした。

夏期：8月18日（土） 受講者数：62名（前年66名）

秋期：10月27日（土） 受講者数：25名（前年32名）

冬期：12月23日（日） 受講者数：25名（前年27名）

合計：112名（前年125名）

#### (3) 英語授業改善のための専門家派遣（ELEC出前研修）

学校（団体）単位で研修講師を派遣し、授業経験・研修指導経験の豊富な英語教育指導者が学校を訪問。実際の授業を踏まえた指導助言・研修、フォローアップを行った。

実施校は下記の通り。

西武台千葉中学校・高等学校（千葉県）年5回

東京都立荻窪高等学校（東京都）1日

東京電機大学中学高等学校（東京都）1日

東京都江戸川区立船堀小学校（東京都）1日

以上4件

#### (4) その他教育委員会主催 教員研修会支援事業

下記の教育委員会主催の教員研修会を委嘱され、実施した。

高知県教育委員会小学校教員研修： 3日（7.5時間） 受講者数25名  
高知県教育委員会中高教員研修： 2日（6時間） 受講者数53名  
宮崎県延岡市教育委員会中学校教員研修 1日（6時間） 受講者数40名  
新潟県新発田市教育委員会ALT研修 1日（2時間） 受講者数6名  
岩手県教育委員会高校教員研修 1日（3.5時間） 受講者数30名  
公益財団法人東京都私学財団： 2日（14時間） 受講者数333名 以上6件

## 2. 英語教員支援事業

### (1) ELEC英語教育賞

2015年度から「ELEC賞」は「ELEC英語教育賞」として再構成され、「文部科学大臣賞」、「ELEC理事長賞」が授与されることとなった。授与式と特別講演会が毎年3月に開催される。今年度の受賞対象校は1校となった。

- 文部科学大臣賞（広島県立広島中学校・高等学校）  
受賞取組名：「協働的な学びを通じた発信活動の試み」
- ELEC理事長賞 該当校なし。

### (2) ELEC英語教育賞授与式・特別講演会

日時：2019年3月9日（土）  
テーマ：「英語教育の改善 ―成果と課題―」  
講師：立教大学教授 松本 茂氏  
参加者：52名（昨年55名）

### (3) ELEC通信

英語教育の改革・改善と質的向上を目指し、日本の英語教育のあるべき姿を考える場として、専門家による評論や学校取組紹介等をELECウェブサイト上に不定期で掲載している。

2018年度で掲載した詳細は下記の通り。

- ① 学校取組紹介 3篇
- ② エッセイ 3篇

2019年度は、これまでのエッセイ「異文化交流の開拓者たち」に代わり、「日本の英語教育の歴史を振り返る」を主とした内容で識者に打診を予定している。

## 3. 一般研修等事業

### (1) ELEC英語研修所(The ELEC Institute)

2018年度は以下のコースを開講した。

□総合英会話コース：

午後部 週1日コース A1-Mon (月)・LA1-Thu (木)・SB (土)

夜間部 週1日コース E1-Tue (火)・E1-Thu (木)

□ビジネス英語コース：

夜間部 ビジネス英語初級コース EPB-Tue (火)

□スキル・トピック別コース：

午後部 ムービークラス AM (金)・ディスカッション (上級) ASD-Wed (水),  
ASD (金)

□日本人講師による基礎英会話コース：

午前部 週1日コース OTM (木)

夜間部 週1日コース OME (月)

□プライベートレッスン：

- 学期制プライベートレッスン (一昨年度廃止したが、以前より継続中の生徒1名はそのまま実施) 週1回 木曜日 (11:15-12:00)
- 非学期制プライベートレッスン  
受講回数・曜日・時間等を学期の枠組みにとらわれずに決められる  
レッスン (1レッスン90分)

2018年度の研修所の延べ受講者数は以下の通りであった。\*( )内は2017年度

春 学 期	52名 (65名)
夏 学 期	52名 (71名)
秋 学 期	45名 (57名)
<u>冬 学 期</u>	<u>46名 (59名)</u>
合 計	195名 (252名)

本年度の受講者数は前年度に比べ全体で57名減となった。

主な理由は、3名に満たないクラスが閉鎖となり、クラス移動が不可能な受講生が退会となった。

新規受講生は12名 (前年度32名) であった。

2018年度、研修所の生徒募集に関して活動は主として下記の実施。

- ①過去受講生への案内 (適宜Eメールにて、研修所レッスンへの誘導を図る)。
- ②体験レッスンの実施 (Nativeとの模擬レッスン、講座の説明などを行う。)

## (2) 企業、大学向け英語研修

- 1) 企業向け英語研修では、既存企業については顧客企業の方向性を確認し、ニーズに合わせた研修内容の構築とともに、企業側が課題としている出席率の向上をお手伝いするために、受講者のコンサルテーションを充実させた。モチベーション向上に一役買っており、企業担当者からも比較的好評を得た。

江東区文化センター委託の英語講座については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本人の「おもてなし」を意識した講座が人気を得ている。「江東区の魅力」は地域の文化・歴史施設を英語で紹介できることを目指し、内容を伴った英語力につなげられると評判がよい。

東京都「おもてなし講座」は今年で4年目を迎え、売り上げを伸ばしている。ELECが担当する講師の質とコーディネーターも講師の役割を果たせるという主催者側の安心感、そして連携を密にとる運営体制が主催者側の評価につながり、依頼数が着実に増えている。(2020年まで実施)

- 2) 大学からの受託講座では、講師派遣契約での新規講座が新たに加わった。既存業務委託契約講座では授業内容、実施方法の見直しを進めた。また既存顧客に対し新規講座提案を行い、2019年度に向けて複数の大学にて新たな講座を実施することとなった。2019年度に向け都内私立大学2校と新規業務委託契約を結ぶことができた。
- 2019年度は、業務内容の見直し、運営方法の見直しを行い、より効率的な運営を目指していきたい。

### 3) 英語教育ポータルサイト事業

英語教員のためのポータルサイト「えいごネット」の管理・運営  
英語教育の一層の充実を目指す教員のため、英語を使う機会の拡充や生徒の英語学習のモチベーションの向上、ALT・ICTの効果的な活用、英語教員の英語力・指導力の強化等についての情報提供を定期的に行っている。  
主に「Easy Reading for students」に関しては2週に1回更新を行っている。

## 4. 教材作成等事業

### (1) 録音教材作成事業

平成30年度の売上は 約1億8,233万円、前年比約1,219万円減で推移した。依然として出版社の出版点数の絞り込みや同業他社との競合により厳しい営業状況は続いている。

### (2) 出版教材作成事業

平成30年度の書籍売上は以下のとおりであった。

日本語で話そう 1	1冊	日本語で話そう 4	7冊
英語会話教本 1	3冊		
			合計:11冊

## 5. 英語村事業部

東京都教育委員会の主導する東京版英語村（TOKYO GLOBAL GATEWA）に勤務する英語話者の採用、研修、配置、管理をE L E Cが業務委託契約で引き受けることになり、2018年3月から12月にかけてフルタイム10名、固定給パートタイマー52名、非常勤パートタイマー92名を採用。同年9月6日の開業に間に合わせるべく、外部専門家の協力も得ながら、長期間の集中研修を実施した。

採用したES（English speaker）講師たちの活躍もあり、開業以来、TGGは高い評価を得ており、学校・団体（小中高）の利用者数も年8万人を超える見通しとなっている。

### 事業報告の附属明細書について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。